

## &lt;2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿&gt;

「社会の持続可能性に貢献し、挑戦するモビリティカンパニーであり続ける」  
Hondaは創業期より「環境保全」と「安全の達成」を使命と位置付けてきました。  
環境負荷ゼロの循環型社会の実現、交通事故死者ゼロの達成といった高い目標を掲げ、取り組み続けるとともに、様々な領域で社会の持続可能性に貢献していきます。

## &lt;SDGsに関する重点的な取組み及び指標&gt;

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	電動車普及に向けたグローバルでのモデル投入戦略	項目	電動二輪車モデル投入数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		12	2030年までに30モデル
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	再生可能エネルギーの導入	項目	ソーラーパネル発電能力
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		9.3MW	2030年に20MW
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	カーボンニュートラル実現に向けたチャレンジ	項目	CO2排出量
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		2020年比 △37%	2030年に2020年比 △46%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

## &lt;パートナーシップ&gt;

熊本製作所では2021年5月から構内用輸送トラックの燃料を軽油からB100燃料に変更。製品の製造過程で排出されるCO2を削減するため、今後、取引会社の方々にも取り組める範囲内でBDF燃料の利用をいただくよう推奨し、BDF燃料の利用が広がることで課題解決に繋げる。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

## &lt;SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況&gt;

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標	
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	電動車普及に向けたモデル投入戦略	Hondaは、2025年までに合計10以上の新たな電動モデルを投入(2022年時点3モデル)	
		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		達成	2025年9月時点、グローバルで12モデルを投入
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	再生可能エネルギーの導入	従業員駐車場カーポート太陽光の導入(2022年未導入、2023年導入実施)	
		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		計画通り	2025年9月時点、カーポートソーラー(P1/2/10)設置済み
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	カーボンニュートラル実現に向けたチャレンジ	リチウムイオン蓄電池の導入(2022年未導入、2023年度実施)	
		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		達成	リチウムイオン蓄電池2023年度設置済み

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。